



ふたつ星4047

専用茶畑にオリジナル看板を設置します！



2022年9月に運行を開始した新たなD&S列車「ふたつ星4047(よんまるよんなな)」では、嬉野市の茶農家「副島園」のご協力のもと、「ふたつ星4047専用茶畑」で栽培された茶葉のみを使用した“うれしの茶”を提供しています。このたび専用茶畑にオリジナル看板を設置することを記念し、2月16日(木)にご協力いただいた皆さまによる除幕式を開催いたします。

★★ふたつ星4047専用茶畑★★

佐賀県・嬉野市の茶農家「副島園」の茶畑の一部を「ふたつ星4047専用茶畑」と名付け、ふたつ星4047専用の茶葉(※)を栽培していただいています。車内で販売している「ふたつ星うれしの茶」は、専用茶畑で栽培された茶葉のみを使用した特別な“うれしの茶”です。

※専用茶畑で栽培される茶葉「あさつゆ」は、天然玉露と謳われ、鮮やかな色とまろやかな風味が特徴。



副島園(そえじまえん)

佐賀県嬉野市で4代続く茶農家。独自の基準で選別した茶を、消費者に直接届ける直売に限り、茶の魅力を一般消費者に伝える。

園主である副島 仁 氏は、嬉野の歴史的伝統文化である嬉野茶・肥前吉田焼・温泉を後世へ守り伝えるため、時代に合わせた新しい切り口でその魅力を表現・発信するプロジェクト「嬉野茶時」の一員としても活動。

★★オリジナル看板★★

「ふたつ星4047専用茶畑」に設置するオリジナル看板は、佐賀県立嬉野高等学校建築科の生徒の皆さんが課題研究の一環として制作してくださいました。このオリジナル看板を通して、茶畑を旅行で訪れた方や地元の皆さまに、「ふたつ星4047」のおもてなしに関わってくださっている皆さまのことを広く発信してまいります。

